

2022.12.10 (日) 作成者：中村

## 第4回スキルアップ委員会議事録

1 日時 12月05日(月) 19:30~21:00

2 菩提寺まちづくりセンター

3 出席者：8名

スキルアップ委員出席：7名

内田(夏見)、中村(針)、川上(みどりの村)、竹澤(サイドタウン)

高畑(朝国)、築山(大谷)、岸田(湖南工業団地南)

役員出席：1名 曾我部会長

欠席：5名

原田(妙感寺)、松原(石部南)、青木(正福寺)、上西(下田西)、西谷(桐松)

4 次第

(1) 報告 事業推進これまでのまとめ 委員長(竹澤)

① Zoom研修会(技能講習)講師：川上委員 於：菩提寺まちづくりセンター

1~4回は、コロナ禍にあって、全幹事対象にオンライン(Zoom)受講できるように、又、各区やまち協においてオンラインが主催できるようにを目的に。

5~8回は、11/20地震災害講演会開催に当たり、全幹事ばかりか広く、各区自治会の防災関連役員等にも、43区長にも呼びかけ、オンライン受講できるように、又、オンラインが主催できるように、を目的に年間事業計画に基づき実施。加えて11月はZoom関連資機材購入のお披露目を兼ねて計画したもの。

- ・第1回 05/22(日) 09:00~10:30 参加者 3
- ・第2回 05/22(日) 13:00~14:30 参加者 4
- ・第3回 05/25(水) 19:30~21:00 参加者 申込みなし 中止
- ・第4回 05/30(月) 19:30~21:00 参加者 申込みなし 中止
- ・第5回 11/10(木) 19:30~21:00 参加者 申込みなし 中止
- ・第6回 11/11(金) 19:30~21:00 参加者 2
- ・第7回 11/13(日) 10:00~12:00 参加者 申込みなし 中止
- ・第8回 11/13(日) 13:00~15:00 参加者 3

② 普通救命講習I(技能講習) 於：菩提寺まちづくりセンター

1 回目は湖南省防災士育成事業として実施、2 回目以降は防災士の再講習に拡大、これに育成事業も合わせて実施。( ) はうち育成受講者数

- ・第 1 回 05/15 (日) 13~16:00 5 人 (5)
- ・第 2 回 06/12 (日) 13~16:00 10 人 (2)
- ・第 3 回 07/24 (日) 13~16:00 9 人 (1)
- ・第 4 回 08/21 (日) 13~16:00 9 人 (0)
- ・第 5 回 09/11 (日) 13~16:00 10 人 (0)
- ・第 6 回 10/16 (日) 13~16:00 9 人 (9)
- ・第 7 回 11/27 (日) 13~16:00 6 人 (2)

計 58 人 (19)

又、10/14 には湖南省保健センター保健婦 13 人に対し、AED 使用の救命講習を「湖南省保健師全体会」として実施。

曾我部会長、福島副会長、危機管理防災士ら 4 人が「湖南省防止連絡会」のビブス着用で「連絡会」をアピール。

③ 地震災害講演会 (第 1 回スキルアップ研修会)

・日時 11 月 20 日 (日) 10:00~11:30

・場所

ア 主会場：菩提寺まちづくりセンター 多目的ホール  
(機器調整担当：川上) (会場担当 責任者：松原、

青木)

イ サテライト①：サンライフ甲西 2F 大ホール  
(機器操作担当：市長井主査) (会場担当 責任者：内田、高

畑)

ウ サテライト②：水戸まちづくりセンター  
(機器操作担当：岸田) (会場担当 責任者：西谷、中村)

・講師 2 人 自衛隊草津地域事務所 佐々木 真 (下田出身 陸自 1 等陸尉)

自衛隊草津地域事務所 植田いづみ (湖南省担当 広報官)

・9/15 定例区長会において曾我部会長名で広く「各区の区長、自治会長、防災関係役員にも“Zoom 研修会”と“地震災害講演会”の参加」を呼び掛けた。市危機管理防災課が受講生集約

・実施結果、受講者 計 77 人

菩提寺まちセン 20 サンライフ 11 水戸まちセン 21  
オンライン 25

\* 昨年 12/06 (日) サンライフ甲西を主会場に 4 つのサテライト会場での「県職員による風水害出前講座」での実施結果は、計 101 人であった。

サンライフ 23 石部南 9 下田 12 菩提寺 9  
水戸 18 オンライン 30

(2) 協議 これまで取り組んできた事業の反省と検討

① Zoom 研修会 (技能研修)

- ・参加者が少ない結果となった。Zoom が浸透しているか、又は必要を感じていないのではないか。
- ・研修会の目的は、Zoom を使用できるようにするのではなく、Zoom という手段を用いて会議や講習会の参加率を上げることである。
- ・次年度に本年度と同様の研修会をしても参加率はあがらないと考える。各委員会の会議で使用するなど実践的に使用する段階に移行するほうがよい。
- ・実践的に使用してもらおうよう Zoom の便利さを分かってもらおう機会を設けてはどうか。

② 普通救命講習 (技能講習)

- ・防災士全員が講習会を受けるのは人数的に現実的ではないので、少なくとも幹事が 2 年に 1 回の講習会を受ければ良いのではないか。
- ・年間 30 人程度を消防署で講習会を依頼し、消防署で対応できなければ、セコムや赤十字等の民間に依頼してはどうか。

③ 地震災害講演会 ～Zoom 関連機器の初披露

- ・ビデオ再生時に音声が出なかったことについて、参加者にご迷惑をおかけした。
- ・音声が出なかった原因を究明することはできた。
- ・講習会の内容が、公助の話が主で、共助の部分が少なかったのが残念であった。

(3) 協議 今後の事業計画について 委員長 (竹澤)

① 先進地視察 01/15 (日) 07:30~18:30

ア 視察先 2ヶ所 人と防災未来センター (神戸市)  
兵庫県広域防災センター (三木市)

イ 10/20 第3回幹事会において、当委員会 10/10 の以下の提案が承認された。

- ・ 視察研修は、現状、滋賀県と視察地の兵庫県の「警戒レベルが2」なので実施しない。 両県の「警戒レベルが1」となったら、計画し実施する。
- ・ その場合、実施当日まで「するのか? しないのか?」分からず、2週間前からキャンセル料が発生することにもなるが出費は了承する。

ウ 新たな提案を、今回の委員会で協議してください。

- ・ 上記実施方針は、私・委員長の10月時点での情勢判断不足等で、コロナ感染対策上、現実的ではないように反省し、以下のように方針変更したいと思います。

・ 滋賀県は11/25 コロナ対策の本部員会議において「県のレベル分類を見直し、レベル2に引き上げた」

詳細は、「滋賀県新型コロナウイルス感染症対策 11/25 第64回本部員会議」(全60ページ)がネットで公開されております。

その要旨は、添付資料「県コロナ対策、昼食写真」をご覧ください。

・ 添付資料の4枚目、「レベル2移行の対応」を見れば、「今一度、基本的な感染対策の徹底を」と呼びかけており、従来のレベル1の対策と大差がない。

・ 添付資料の3枚目、レベル3になって、従来の基本的な対応にプラスして、「外出・出勤等を控える」「混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出な

ど

は慎重に」と要請されることになる。視察研修はこれに該当すると思われる。

◎協議内容など

・ 滋賀県コロナ対策が「レベル1、レベル2では視察研修を実施」「レベル3が発令されたら視察研修は中止」とする。

・ その判断は、滋賀県の警戒レベルに基づきますが判断時期は以下のとおり。

～キャンセル料が発生する2週間前、つまり年末12/30時点で「滋賀県が警戒レベル3であれば中止」

～新年になってから「滋賀県が警戒レベル3になった時点で中止」（その場合キャンセル料が発生する可能性がある）

～年末、新年とも「滋賀県が警戒レベル2のままであれば実施」

- ・それでもキャンセル料は発生するのか？については、委員会の方針決定後に業者に確認します。

#### 「協議結果」

委員会として以下の方針を決定した。

- ・レベル1、レベル2では視察研修会を実施する。
- ・レベル3が発令されたら視察研修は中止する。
- ・参加者が20人以下であれば、視察研修は中止する。

#### ② 長野上田市と菩提寺まち協との防災連絡会（第2回スキルアップ研修会）

- ・菩提寺まち協（担当：川上委員、栗津副会長）と上田市防災士等連絡協議会会長の間で講演会の内容、日時等調整中

#### (6) 次回 会議予定

##### ア 定例幹事会

第4回 12/15（木）19:00～21:00 於：サンライフ甲西大ホール

第5回 02/16（木）19:00～21:00 於：サンライフ甲西大ホール

##### イ 定例スキルアップ委員会

定例幹事会の1週間前の月曜日 於：菩提寺まちづくりセンター

第5回 02/06（月） 19:30～21:00

議案：来年度の事業計画(案)について

以上